

みずほCustomer Desk Report 2023/06/07号(As of 2023/06/06)

市場営業部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】				公示仲値	139.62
	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	GBP/USD	AUD/USD
TKY 9:00AM	139.42	1.0712	149.33	1.2435	0.6612
SYD-NY High	139.99	1.0733	149.68	1.2459	0.6686
SYD-NY Low	139.10	1.0668	148.87	1.2392	0.6610
NY 5:00 PM	139.65	1.0693	149.35	1.2423	0.6672
	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	33,573.28	10.42	日本2年債	▲0.0700%	0.0000%
NASDAQ	13,276.42	46.99	日本10年債	0.4200%	▲0.0100%
S&P	4,283.85	10.06	米国2年債	4.4964%	0.0273%
日経平均	32,506.78	289.35	米国5年債	3.8291%	0.0053%
TOPIX	2,236.28	16.49	米国10年債	3.6765%	▲0.0115%
シカゴ日経先物	32,645.00	545.00	独10年債	2.3665%	▲0.0065%
ロンドンFT	7,628.10	28.11	英10年債	4.2030%	0.0040%
DAX	15,992.44	28.55	豪10年債	3.7680%	0.0220%
ハンセン指数	19,099.28	▲ 9.22	USDJPY 1M Vol	9.57%	▲0.17%
上海総合	3,195.34	▲ 37.10	USDJPY 3M Vol	9.62%	▲0.11%
NY金	1,981.50	7.20	USDJPY 6M Vol	9.83%	▲0.15%
WTI	71.74	▲ 0.41	USDJPY 1M 25RR	▲1.25%	Yen Call Over
CRB指数	260.68	0.24	EURJPY 3M Vol	9.02%	▲0.14%
ドルインデックス	104.13	0.12	EURJPY 6M Vol	9.48%	▲0.18%

東京	東京時間のドル円は139.42レベルでオープン。特段材料がない中、ドル円は139円台半ばでもみ合う展開。36銭程度の狭いレンジでの推移となり、結局オープンと同水準の139.39レベルで海外時間に渡った。午後にはRBAが市場予想に反し25bpの追加利上げを行い政策金利は4.10%となった。声明文でも追加利上げの可能性を述べたことで豪ドルは上昇するもドル円相場への影響は限定的だった
ロンドン	ドル円は方向感なく推移し、ユーロドルは上値重い展開。ロンドン市場のドル円は、139.39レベルでオープン。米金利低下を背景に一時139.10まで売られるも、結局139.60レベルでNYに渡った。ユーロドルは、1.0727レベルでオープン。ユーロ圏4月小売売上高が発表され、前月比が予想を下回るも影響は限定的。結局、1.0678レベルでNYに渡った。
ニューヨーク	海外市場のドル円は139円台半ばでスタート。豪中銀が予想外の25bp利上げを発表し、ドルが対豪ドルで売られたほか、米景気減速を警戒した円買いも相まって、139円台前半まで下落する。その後、米金利の反転上昇に伴い反発し、139.60レベルでNYオープン。本日は米経済指標発表を控えていない中、高水準の米金利を眺めながら、ドル円も底堅く推移し、139.99まで上昇する。しかし、節目の140円台手前での利益確定の売りを意識してか、長続きはせず反落。午後は特段材料が見当たらない中、139.70近辺で揉み合いとなり、139.65レベルでクローズ。一方、海外市場のユーロドルは1.07台前半でスタート。独4月製造業受注が予想を下回り、ユーロ売りが先行。続いて発表されたユーロ圏4月消費者のインフレ予想も低下している内容を受け、売りが更に強まり、1.0678レベルでNYオープン。朝方は米金利上昇が重しとなり、じり安での推移が続き、1.0668まで値を下げる。その後は下げ渋り、1.06台後半まで回復する。午後は1.0690付近を挟んだ方向感乏しい推移が続き、1.0693レベルでクローズ。

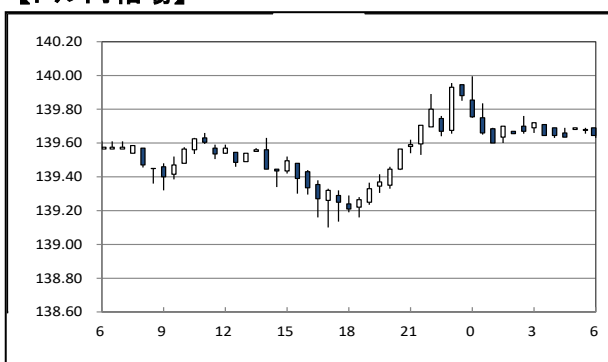
【昨日の指標等】

Date	Time		Event		結果	予想
6月6日	13:30	豪	RBAキャッシュレートの	6-Jun	4.10%	3.85%
	15:00	独	製造業受注(前月比)	4月	-0.4%	2.8%
	18:00	欧	小売売上高(前月比)	4月	0.0%	0.2%

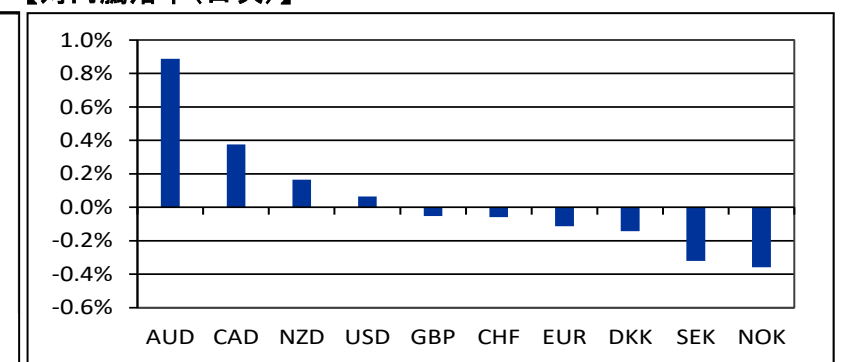
【本日の予定】

Date	Time		Event		予想	前回
6月7日	10:30	豪	GDP(前年比)	1Q	2.4%	2.7%
	15:00	独	鉱工業生産(季調済/前月比)	4月	0.6%	-3.4%
	21:30	米	貿易収支	4月	-\$75.8B	-\$64.2B
		中	輸出(前年比)	5月	-1.8%	8.5%
		中	輸入(前年比)	5月	-8.0%	-7.9%
		中	貿易収支	5月	\$95.45B	\$90.21B

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	139.00-140.00	1.0650-1.0750	148.50-150.50

【マーケット・インプレッション】

昨日のドル円相場は上下しつつも方向感はず、139.10-139.99のレンジで推移。
 東京時間は139.42レベルオープンから仲値前後での実需をベースとして139.66まで上昇するも一巡後は下げに転じ、欧州入り後に139.10まで下落する展開に。ただし、米金利の底堅さや株式市場の堅調推移を眺めたリスクオン139円ちょうど手前での押し目雰囲気により再び上昇。またブラックアウト期間中でFRB関係者の発言がない中、元FRB副議長クラリダ氏のタカ派発言「FRBはこの利上げサイクルでおそらく再び利上げするだろう」「2024年まで利下げする可能性は低い」も手掛かりに短期筋のストップも巻き込みながらドル円は139.99まで押し上げされた後、140円ちょうど付近での利益確定の売りにも戻され、結局139.65レベルで東京時間に戻すかたちとなった。
 来週の米国CPI、およびFOMCを控え様子見ムードが強まる中、本日ドル円は139円台でのレンジ展開を想定。米国経済指標としてMBA住宅ローン申請指数、4月貿易収支を予定するも動意付けには乏しいか。寧ろ、昨日サプライズ利上げを実施したRBAロウ総裁の講演や、中国貿易収支、カナダ中銀政策金利発表等の内容を受けた他通貨由来の変動リスクに注意したいところ。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 上遠野・鈴木